

伊勢湾において想定される被害想定 ～南海トラフ巨大地震の概要～

参考資料－3

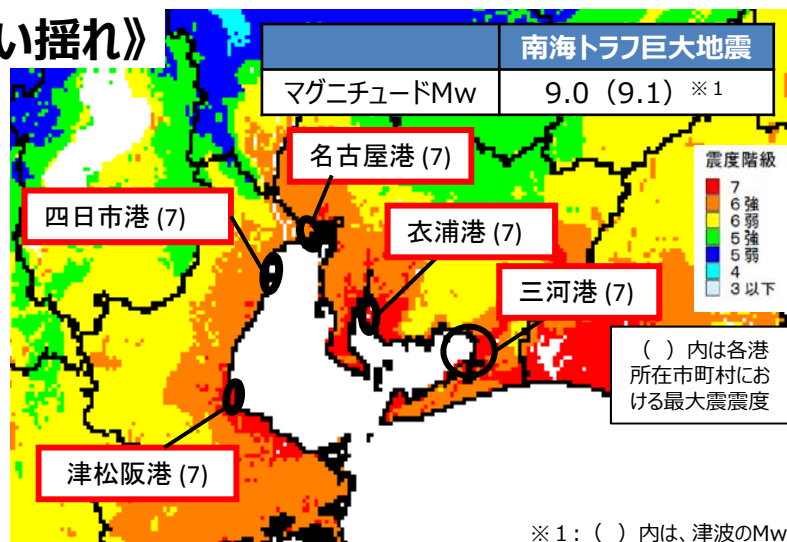
○内閣府の南海トラフ巨大地震の被害想定（第二次報告）及び各自治体でとりまとめた地震・津波による被害想定は、次のとおり

強い揺れ：伊勢湾内の港湾所在市町村における最大震度は震度 震度 7

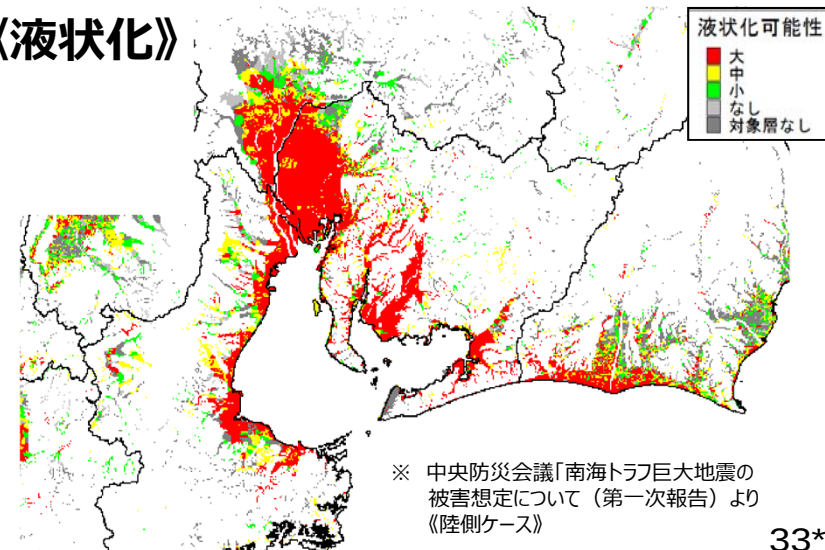
液状化：強い地震の揺れに伴い、各港において、液状化・地盤沈下が発生

津 波：伊勢湾内の港湾所在市町村における最大津波高は、4～7 m

《強い揺れ》

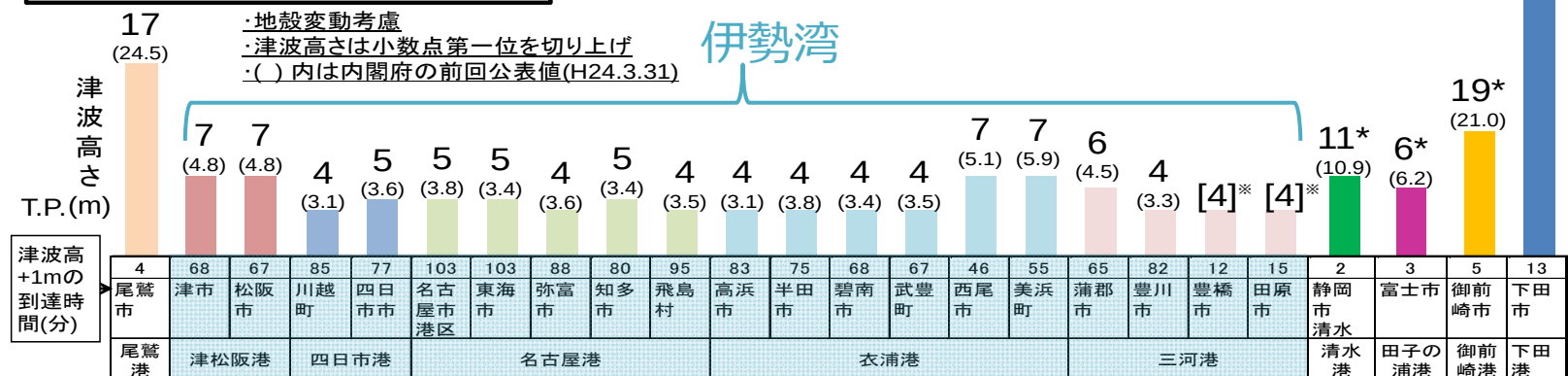


《液状化》



《津 波》

各港所在市町村における最大津波高



※豊橋市、田原市の〔〕内は三河湾側の値

出典：南海トラフの巨大地震モデル検討会「南海トラフの巨大地震による津波高・浸水域等（第二次報告）」より引用

* 港内の最大津波高は清水港 7m、田子の浦港 6m、御前崎港 11m、下田港 23m

南海トラフ巨大地震の被害想定

- 平成24年8月29日に南海トラフ巨大地震の被害想定が内閣府より公表。
- 東北地方太平洋沖地震と比較して、大きな被害が予測されている。
- 中部管内各県においても人的被害が大きい。

被害が最大となるケースと東北地方太平洋沖地震との比較

	浸水面積	浸水域内人口	死者・行方不明者	建物被害 (全壊棟数)
東北地方太平洋沖地震	561km ²	約62万人	約18,800人	約130,400棟
南海トラフ巨大地震 (参考:2003年の東海・東南海・南海 地震想定)	1,015km ² (—)	約163万人 (—)	約323,000人 (約24,700人)	約2,386,000棟 (約940,200棟)
倍率	約1.8倍	約2.6倍	約17倍	約18倍

出典:平成24年8月19日 南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ公表資料

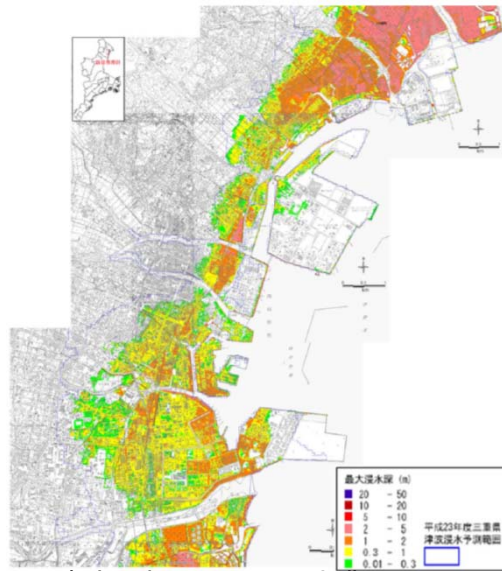
中部管内各県の想定死者数及び要救助者数

被害想定(第二次報告)			愛知県	三重県	岐阜県	静岡県	
○被害額 (全国) (東海3県)			各県で死者数が最大となるケースの死者数	約2.3万人	約4.3万人	約200人	約10.9万人
資産等	約 170 兆円	約68兆円(約4割)	(上記のうち、津波による死者数)	(約6,400人)	(約3.2万人)	(―)	(約9.5万人)
経済活動	約 51 兆円	―					
計	約 220 兆円						
○港湾被害 (全国)			各県で要救助者数が最大となるケースの要救助者数	約7.1万人	約3.4万人	約1,000人	約6.5万人
資産等	約 3.3 兆円		(上記のうち、津波による要救助者数)	(約2,700人)	(約1,400人)	(―)	(約8,000人)
経済活動	約 17 兆円(参考値)						

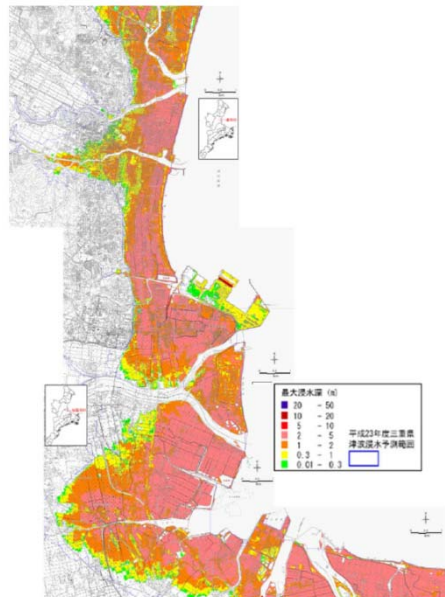
出典:平成24年8月19日 南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ公表資料

南海トラフ巨大地震の津波浸水想定

三重県



津波浸水予測図(四日市港)

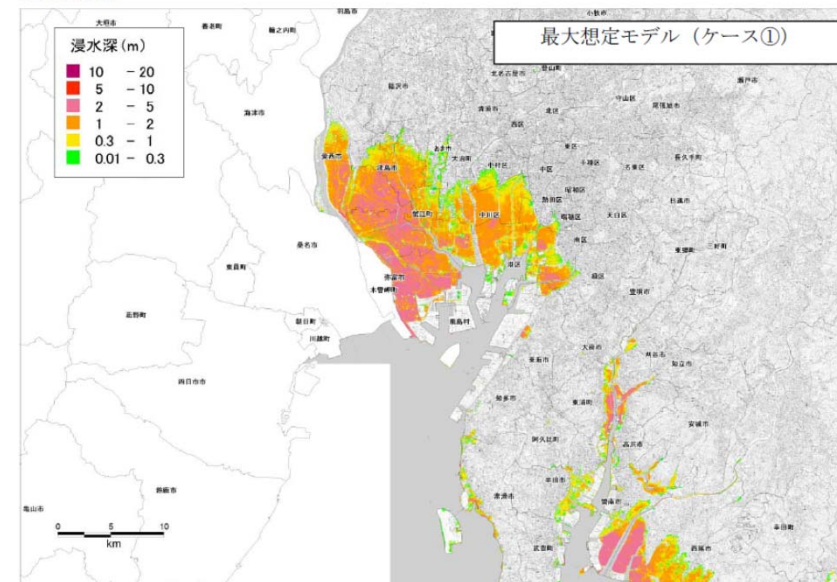


津波浸水予測図(津松阪港)

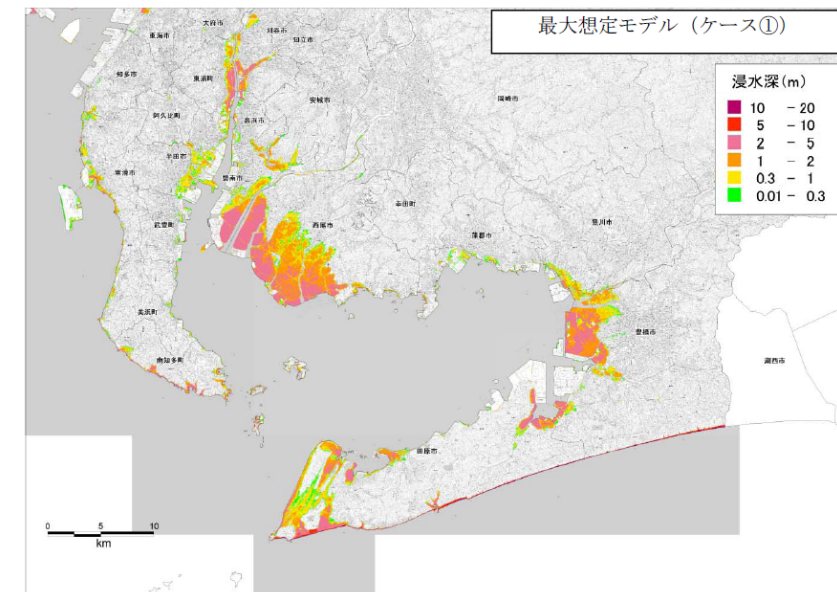
出典：「三重県地震被害想定調査結果」(H26.3三重県)

愛知県

愛知県西部



愛知県東部



最大想定モデル(ケース①)の津波の最大浸水深分布

出典：「平成23年度～25年度 愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査報告書」(H26.3愛知県)